

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド
 コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 濱田 賢治
 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	2,795	0.1	80	△44.1	82	△43.5	42	△47.1
25年11月期第2四半期	2,791	3.6	144	12.6	146	13.6	80	△3.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	7.33	—
25年11月期第2四半期	13.84	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
26年11月期第2四半期	10,886		8,221	75.5			1,415.88	
25年11月期	11,068		8,207	74.1			1,413.43	

(参考)自己資本 26年11月期第2四半期 8,221百万円 25年11月期 8,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△13.1	△400	—	△400	—	△240	—	△41.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期2Q	5,856,400 株	25年11月期	5,856,400 株
② 期末自己株式数	26年11月期2Q	49,993 株	25年11月期	49,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期2Q	5,806,587 株	25年11月期2Q	5,807,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策などを背景に、企業業績や個人消費が改善し、円安株高が進み、緩やかな景気回復の兆しが見えてきたものの、新興国経済の下振れや、消費税増税による個人消費低迷への懸念など、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、2,795,123千円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費は1,806,739千円(前年同四半期比3.2%増)となり、営業利益は80,705千円(前年同四半期比44.1%減)、経常利益は82,529千円(前年同四半期比43.5%減)となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純利益は、42,536千円(前年同四半期比47.1%減)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,762,279千円(前年同四半期比0.0%減)、営業利益61,645千円(前年同四半期比53.3%減)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門585,232千円(前年同四半期比1.3%減)、レストラン部門729,780千円(前年同四半期比4.0%減)、宴会部門1,238,912千円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高32,844千円(前年同四半期比16.3%増)、営業利益19,060千円(前年同四半期比54.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は10,886,996千円(前事業年度末比181,742千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金150,747千円の減少や、売掛金13,490千円の増加、有形固定資産49,176千円の減少などです。

(負債)

負債合計は2,665,842千円(前事業年度末比195,632千円減)となりました。

主な要因は買掛金50,565千円の減少や、前受金95,719千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は8,221,154千円(前事業年度末比13,889千円増)となりました。

主な要因は利益剰余金13,503千円の増加などです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ150,747千円減少し、1,270,961千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業収入2,748,991千円、原材料又は商品の仕入れによる支出995,175千円、人件費の支出895,656千円、その他の営業支出790,387千円、法人税等の支払額47,214千円などにより営業活動によるキャッシュ・フローは22,097千円の収入(前年同期比153,634千円の収入減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出142,621千円などにより投資活動によるキャッシュ・フローは144,196千円の支出(前年同期比126,436千円の支出増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額28,495千円などにより財務活動によるキャッシュ・フローは28,649千円の支出(前年同期比14,428千円の支出減少)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成26年4月3日に公表しました「平成26年11月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実行税率は、平成26年12月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については、従来の38.0%から35.6%となりました。

この税率変更による影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,709	1,270,961
売掛金	259,128	272,619
原材料及び貯蔵品	84,390	94,869
繰延税金資産	26,254	21,347
その他	32,334	28,519
貸倒引当金	△810	△1,010
流動資産合計	1,823,007	1,687,307
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	△3,676,474	△3,766,168
建物(純額)	5,451,831	5,362,137
土地	2,972,803	2,972,803
その他	6,541,440	6,649,201
減価償却累計額	△6,004,731	△6,067,346
その他(純額)	536,708	581,855
建設仮勘定	44,424	39,795
有形固定資産合計	9,005,767	8,956,591
無形固定資産	57,912	60,379
投資その他の資産	182,052	182,719
固定資産合計	9,245,732	9,199,689
資産合計	11,068,739	10,886,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	396,219	345,653
未払法人税等	57,500	55,200
未払賞与	132,900	130,400
前受金	181,136	85,416
災害損失引当金	150	150
ポイント引当金	2,395	2,431
その他	286,352	238,814
流動負債合計	1,056,653	858,066
固定負債		
繰延税金負債	9,380	—
再評価に係る繰延税金負債	586,351	586,351
退職給付引当金	796,697	806,835
役員退職慰労引当金	141,053	146,751
その他	271,338	267,838
固定負債合計	1,804,821	1,807,775
負債合計	2,861,474	2,665,842

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	890,264	903,768
自己株式	△24,389	△24,506
株主資本合計	7,683,885	7,697,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,928	9,431
土地再評価差額金	514,451	514,451
評価・換算差額等合計	523,379	523,883
純資産合計	8,207,265	8,221,154
負債純資産合計	11,068,739	10,886,996

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	2,791,326	2,795,123
売上原価	895,586	907,677
売上総利益	1,895,740	1,887,445
販売費及び一般管理費	1,751,340	1,806,739
営業利益	144,400	80,705
営業外収益		
受取利息	88	110
受取配当金	1,319	1,430
その他	435	374
営業外収益合計	1,843	1,915
営業外費用		
その他	112	92
営業外費用合計	112	92
経常利益	146,131	82,529
特別損失		
固定資産除却損	144	1,194
特別損失合計	144	1,194
税引前四半期純利益	145,986	81,334
法人税、住民税及び事業税	95,483	44,569
法人税等調整額	△29,872	△5,771
法人税等合計	65,611	38,798
四半期純利益	80,375	42,536

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,866,466	2,748,991
原材料又は商品の仕入れによる支出	△978,438	△995,175
人件費の支出	△811,365	△895,656
その他の営業支出	△729,487	△790,387
小計	347,174	67,771
利息及び配当金の受取額	1,407	1,541
法人税等の支払額	△172,849	△47,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,732	22,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,759	△142,621
無形固定資産の取得による支出	—	△1,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,759	△144,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△42,755	△28,495
その他	△322	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,077	△28,649
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	114,895	△150,747
現金及び現金同等物の期首残高	1,198,303	1,421,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313,199	1,270,961

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,763,089	28,237	2,791,326	-	2,791,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,763,089	28,237	2,791,326	-	2,791,326
セグメント利益	132,035	12,364	144,400	-	144,400

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,762,279	32,844	2,795,123	-	2,795,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,762,279	32,844	2,795,123	-	2,795,123
セグメント利益	61,645	19,060	80,705	-	80,705

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。